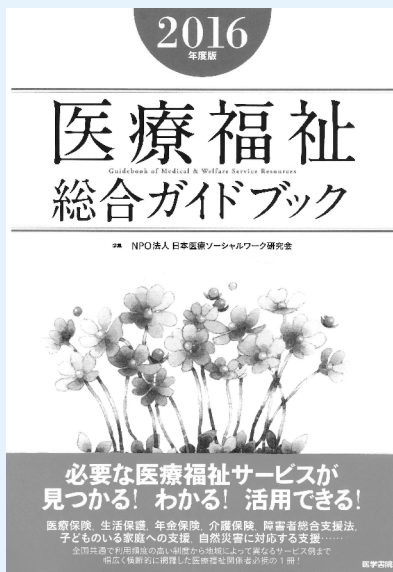




医療福祉総合ガイドブック 2016 年度版

NPO 法人日本医療ソーシャルワーク研究会＝編

本体 3300 円＋税

医学書院 ☎ 03-3817-5657

本書の最大のコンセプトは「もし、自分が利用するならば……」。徹頭徹尾、著者たちの「利用者のために意を尽くそう」という思想、視点が貫かれ、医療・福祉領域、社会生活全般での社会資源の活用が、高齢者・子ども・被災者・生活困難者など対象者ごとに、丁寧にわかりやすく解説される。日本の社会保障のしくみ全体を俯瞰する医療福祉関係者必携の書。

必要な医療福祉サービスが
見つかる！ わかる！ 活用できる！

医療保険、生活保護、年金保険、介護保険、障害者総合支援法、子どものいる家庭への支援、自然災害に対応する支援……全国共通で利用可能な施設・制度から地域によって異なるサービスまで幅広く最新鋭に網羅した医療福祉関係者のための1冊！

医学書院

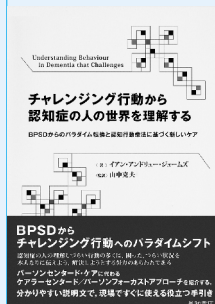
チャレンジング行動から認知症の人の世界を理解する BPSDからのパラダイム転換と認知行動療法に基づく新しいケア

イアン・アンドリュース・ジェームズ＝著

山中克夫＝監訳

本体 2300 円＋税

星和書店 ☎ 03-3329-0031



「認知症の人の理解しづらい行動の多くは、困った、つらい状態を本人なりに伝えよう、解決しようとする努力のあらわれである」(本書書)。認知症のBPSDをチャレンジング行動ととらえ、介護者を中心に当事者の特徴に焦点をあてたケア、ケアラー・センター・パーソン・フォー・カ・ストアプローチ」を提唱する。

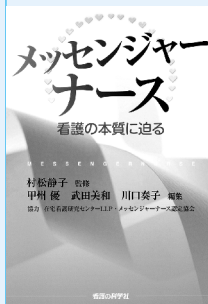
メッセンジャーナース 看護の本質に迫る

村松静子＝監修

甲州優・武田美和・川口奏子＝編

本体 1500 円＋税

看護の科学社 ☎ 03-3943-0244



メッセンジャーナースとは、「看護の本質により迫る看護師として、療養者・家族に寄り添い、医療の受け手と医療者をつなぐ懸け橋となる看護師（はじめに）より」。28都道府県80名を超え（2015年12月末、さらに広がりを見せるメッセンジャーナースの活動と育成から看護の本質を見つめていく。

死ぬとはどのようなことか 終末期の命と看取りのために

ジャン・ドメニコ・ボラージオ＝著

佐藤正樹＝訳

本体 3400 円＋税

みすず書房 ☎ 03-3814-0131



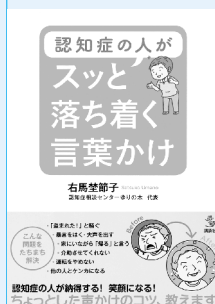
緩和医療に長く携わるドイツ人医師による、人が「死ぬこと」を論じたベストセラー。死への準備を遅らせるのは不安であり、不安を和らげるのは、一も二もなく、医療者を含む周囲の人々との対話による信頼だと説く。よりよい終末期を生きたため支えるための「死」を学ぶ本。

認知症の人がスッと落ち着く言葉かけ

右馬埜節子＝著

本体 1400 円＋税

講談社 ☎ 03-5395-4415



著者は2000人を超える認知症高齢者との対応のなかから、認知症の人に落ち着いてもらえる言葉かけ、接し方を生み出した。記憶がこぼれてゆく認知症の人は、引き算の世界に住んでいるとし、その発想に基づいた「引き算」のケアをマンガによる事例とともに紹介。